

# 国語だより その7

相良中学校 国語部

かささぎの渡せる橋わたに置く霜しもの  
白しろきを見れば夜よぞ更ふけにける



今日けふの一首は、「小倉百人一首」の六番、大伴家持おおとものやかもちの歌  
です。歌の内容は「カササギが天の川に渡した橋おに降りている霜の白しろさ  
に、夜も更けてしまったと感じた」というものです。

「カササギ」は七夕たなばたの夜、天の川に橋かを架けて織姫おりひめと彦星ひこぼしを会わせる、  
という伝説のある鳥です。夜空に橋が架かり、そこに霜しもが降りるなんて  
あり得ません。これは宮中の建物と建物をつなぐ渡り廊下わたを表している  
と考えられます。「織姫と彦星を会わせる橋」ですから、作者は「恋人  
に会いたいけどもう遅いからなあ」と嘆なげいているのです。

## 読書感想文をどう書くか③～執筆編の1～

「正しい読書感想文の書き方」などというものはありません！

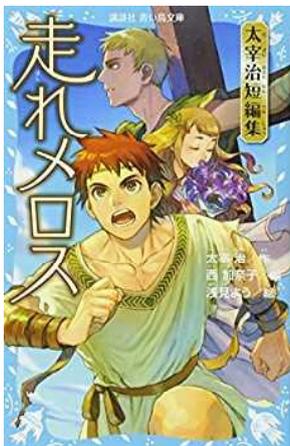
ここでは皆さんが感想文を書くためのヒントや方向性を、いくつ  
か紹介していきたいと思います。どう生かすかは、あなた次第。本  
や読書の魅力を伝える、素敵な感想文を目指しましょう。



今回は、「彼（彼女）は、なぜ〇〇したのか？を説明する」です。

感想文でやってしまいがちなことに、「僕（私）にはできません」や「僕（私）もそう  
したいです」があります。登場人物の立場や性格、心情やその時の状況など、物語を深  
く読み込むことなしに自分に置き換えてしまうミスです。

皆さんが、その言動に「共感」した登場人物。その「共感」の一番のポイントとなる  
場面を見つけましょう。そこには「彼（彼女）」の魅力となる行動が描かれているはずで  
す。人物像や性格、そこに至る状況などを踏まえて、その行動をきちんと説明してみま  
しょう。その説明こそが、読書感想文の中心だと言えます。



「他人のものを盗んではいけない。私はしないと思う」と考えた  
人も、「僕」の情熱やエーミールとの関係を読み解けば、「私もヤマ  
マユガを盗むかも」と思うようになるでしょう。二人の友情に感動  
し「僕も信じて待ちます」という人も、メロスの人柄や行動を読み  
解いて「何であんなバカ（失礼）の身代わりにならなきゃいけない  
の」とセリヌンティウスにダメ出ししたくなるかも知れません。

気になる場面、登場人物の言動に説明を加えてみましょう。読書  
感想文がぐっと書きやすくなります。